

レファレンス だより

2013年7月号
No. 128

福岡市総合図書館
図書サービス課 相談係
☎092-852-0632



図書館では、情報を求める利用者に対して、図書館の資料と機能を活用して調査のお手伝いをする「レファレンス・サービス」を提供しています。「レファレンスだより」は、実際に寄せられた質問について、総合図書館が回答した事例の一部を紹介する情報紙です。(法律相談や物品鑑定などお答えできない質問もあります。)

■レファレンス受付件数 (2013年4月分)

参考	人文	社会	自然	郷土
109	1569	368	338	401
国際	国連	こども	ホピュラー	合計
578	61	679	1287	5390

(開館日 25日 一日平均 216件)

※「2階C1」などと表記しているものは総合図書館の棚番号です。また、「813.1」などと表記しているものは分類番号で、数字の左にRが付いている資料、郷土資料は貸出ができませんので、館内でご利用ください。本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



今月のレファレンス徹底解説!

Q: 福岡藩の医師であった原三信という人物が、杉田玄白らの『解体新書』以前に西洋解剖図の写しを完成させていたらしい。詳しく知りたい。

■医学史関連の資料を探す

『九州の蘭学』(W. ミヒェル・鳥井 裕美子/共編 思文閣出版 2009年) 2階E6 402.10/4

九州出身あるいは九州で活躍した蘭学者と外国人についての評伝集。「日本最初の西洋解剖書」という副題と共に、原三信・本木良意の名前ある。

西洋解剖書の最初の翻訳は『解体新書』の約90年前に長崎で行われたとある。行ったのは本木良意というオランダ通詞であり、1682年にはドイツ人レメリンの解剖図『小宇宙鑑』の翻訳を完成させている。しかしその訳本は現存せず、1687年の日付が入る原三信の写本が、原本の姿を最もよく伝えているとあり。レメリンの解剖図は臓器や筋肉を紙で重ね貼りしたものであったが、原三信の写本も和紙を丹念に重ねて同様の仕掛けをほどこしているとある。

『日本で初めて翻訳した解剖書』(原三信/編 六代原三信蘭方医三百年記念奨学会 1995年) 2階E8 491.1/2
写本を完成させた原三信とは、黒田長政の時代から藩医をつとめ、代々三信を襲名する原家の第6代である。時の藩主・黒田綱政の命により長崎出島でオランダ人の医師から外科を学び、蘭方外科医の免許を授けられたとある。

この本は、外科免許授与300年の記念として出版されたものであり、レメリンの解剖図とそれを模写した原三信の解剖図が対比して紹介されている。写真が大きくわかりやすい。

■福岡関連の資料を確認する

『福岡県史 通史編[1] 福岡藩文化 上』(西日本文化協会 1993年) 閉架書庫

「学問と教育」の章「蘭学」の項目に、レメリン解剖図が解体新書ほど有名にならなかった理由について記載がある。本木良意の訳本は、のちに医師鈴木宗伝により『和蘭全軀内外分合図』として『解体新書』以前に出版されたが、説明文がわかり辛く解剖図が複雑で原著より稚拙であったことや、複雑な作りのため発行部数が少なかったため世に注目されなかったとある。また前述した『日本で初めて翻訳した解剖書』では、レメリンの解剖図には聖書からの引用が多く、図と共にキリストの十字架像や天使の装飾がほどこされた神学的な色彩の強いことから、医学書としての評価が低かったとも記載されている。



その他にもこんな質問がありました

Q：南部鉄器など、鉄瓶の作り方や産地が知りたい。

■百科事典

『日本大百科全書 16 2版 てとく』（小学館 1994年）2階 C1 R031/ニ

鉄瓶の項目に説明あり。主産地としては、京都、大阪のほかに、岩手県の南部藩城下町であった盛岡が著名であり、「南部鉄瓶」とよばれている。このほか、山形市、常陸太田市（茨城県）などが知られていると書かれている。南部鉄瓶の製造工程が写真入りで簡単に説明されている。

■工芸関連

『シリーズ日本の伝統工芸 3 金工品』（リブリオ出版 1986年）1階子7 75/シ

南部鉄器の歴史や作り方が写真入りで詳しく説明されている。工程のあらましによると、作図と木型について→鋳型のできるまで→紋様をつけ肌打ちをする→中子づくり→型の組み立て→原料の溶解と鋳込み→型出し→金気止め→研磨と着色となっている。

Q：町内会の役員になったのだが、組織や活動についてわかりやすく書かれた本はあるか。

■地方自治・町内会関連

『地域再生と町内会・自治会 増補版』

（中田実・山崎丈夫／著 自治体研究社 2012年）2階 D9 318.8/フ

町内会・自治会について、定義や組織原則、会員、会計、規約などを解説している。町内会・自治会がどのような活動に取り組んでいるか、またその課題についても記述あり。

『町内会のすべてが解る! 「疑問」「難問」100問100答』

（中田実・山崎丈夫／共著 じゃこめてい出版 2008年）1階ポ67 318.8/フ

町内会とは何をするとところか、運営方法、活動の活性化などについて、Q&A方式で書かれている。

『自治会活動ハンドブック 第2次改訂版』

（福岡市市民局コミュニティ推進部コミュニティ推進課 2010年）行政資料 G24/FY/H22

町内会、自治会の組織の運営と活動について、わかりやすく解説している。規約や各種文書の例が掲載されているほか、福岡市の地域支援策についても記述あり。この冊子は、市民局コミュニティ推進課、各区地域支援課（中央区は地域振興・支援課）、福岡市情報プラザで配布している。

■インターネット

福岡市【<http://www.city.fukuoka.lg.jp/>】>くらし・手続き・環境>コミュニティ・地域の活動・NPO・ボランティア>コミュニティ・地域の活動>地域活動の支援メニュー
上記の『自治会活動ハンドブック』や、その姉妹編の『自治会長の知恵袋』（事例集）がダウンロードできる。

Q：魚の好き嫌いや消費量がわかる資料はないか？

■統計関連

『食生活データ総合統計年報』（三冬社 2012年）2階 C3 R498.5/シ/ピジ 叔2

「食の開発と動向」に関するアンケートや統計の収録より、「年間1人当たりの魚介類品目別家計消費の推移（全国）平成12～22年」（総務省「家計調査」に基づき、水産庁で作成）の結果から、内5か年分の魚介類消費の数量と金額の推移がわかる。また、（株）いよぎん地域経済研究センター調査による「魚の消費に関するインターネットアンケート」（2010年3月調査）より、「魚の好き嫌い」に関するアンケートあり。「①好き」「②どちらかという好き」「③どちらかという嫌い」「④嫌い」の結果項目を年代別にパーセンテージで表示している。全体では71.0%が「好き」という結果になっている。

『教育アンケート調査年鑑 2012下』（『教育アンケート調査年鑑』編集委員会／編 創育社 2012年）2階C16 R370.59/キ
農林中央金庫による「現代高校生の食生活、意識と実態調査（2012年3月調査）」より、「嫌いな食べ物」のアンケート結果の第4位に「魚」があがっている。

『水産物流通統計年報 平成21年』（農林水産省大臣官房統計部／編集 農林統計協会 2012年）2階C16 R661.4/ス

「国民一人当たりの年間供給粗食料」（農林水産省『食糧需給表』）より、平成17～21年までの魚介

類の粗食料（食料の国内消費仕向量から、飼料用・加工用等を引いた量）の数値がわかる。

『家計調査年報 平成 23 年 家計収支編』（総務省統計局 2012 年）2 階 C16 R365.4/カ
全国の世帯（施設や学生の単身世帯を除く）を調査対象として、1 世帯当たりの家計収支が分かる資料。
1 か月間の消費支出が分かる表の中に「魚介類」の項目があり、毎月いくら支出しているかがわかる。

Q：桜の効能について知りたい。化粧品にも使用されるそうだが、成分やどのような効果があるかなどが書かれた資料はあるか。

■植物関連

『桜 2 ものとな人間の文化史』（有岡 利幸／著 法政大学出版局 2007 年）2 階 E12 627.7/7
桜花の芳香成分やその効果について『桜をたのしむ』（林業科学技術振興所編・刊）を参考に解説。桜花の芳香成分には心をほぐし、幸せな気分にしてくれる作用が、また花びらには二日酔いにも効果があるといわれていることなどが書かれている。成分名が 14 種挙げられている。

『桜さくらサクラ 100 の素顔』

（東京農業大学短期大学部生活科学研究所／編 東京農業大学出版会 2000 年）2 階 E12 627.7/7
江戸の民間療法では桜皮、特に 6～8 月頃の樹皮をはいで天日で乾燥させ生薬としていたとある。咳、しゃっくり、おでき等の各症状で服用方法に違いがある事などが分かる。幕末の華岡青洲が創案した「十味敗毒湯（じゅうみはいどくとう）」にも桜皮が用いられていたこととその効能が挙げられている。

■薬学関連

『漢方のくすりの事典 第 2 版』（鈴木 洋／著 医歯薬出版 2011 年）2 階 E2 R499.8/ス
“桜皮”について、薬用は主にヤマザクラの主幹が 20 cm以下の太くない木の樹皮を利用することや、樹皮と葉の成分名が書かれている。江戸時代の民間療法では桜皮はさまざまに応用され、治療薬として知られていたこと、現在でも桜皮のエキス製剤は鎮咳去痰薬として臨床に用いられていることが分かる。

■化粧品関連

『化粧品有用成分バイヤーズガイド』（西島 靖／監修 フレグランスジャーナル社 2011 年）2 階 E15 576.7/ケ
「オリザ油化株式会社」の製品“桜の花エキス-LC”について成分や効果、有効性安全性の試験データ等が載っている。同社のホームページ【<https://www.oryza.co.jp/>】では、京都薬科大学との共同研究で見出した桜の花の詳しい成分や効果等、研究結果が確認できる。

Q：環境問題の観点から、森林について書かれている国連の資料はあるか。

■関連資料

『State of the world's forests 2012 』
（Food and Agriculture Organization of the United Nations 2012 年）2 階国連 A1 F070.01/'12
国際連合食糧農業機関(FAO)が 2 年ごとに発行している世界中の森林・林業の現状を報告している白書。1995 年の初版から 10 作目にあたる本書はこれまでの概要を掲載。当館は 1999 年版から所蔵。

『世界森林白書』（国際連合食糧農業機関／編 国際農林業協働協会 2009 年）2 階国連 A1 F070.01/'09
上記図書 2009 年版の日本語版。世界の森林を地域別に検討、国別の森林面積・増減率の統計あり。

『World atlas of biodiversity: Earth's living resources in the 21st century』

（Brain Groombridge and Martin D. Jenkins University of California Press 2002 年）
2 階国連 A2 F003.04/'02

人類と他の地球上のあらゆる生物との関わりとして生物多様性の問題を地球規模でとらえ、表・図・カラー写真を多く掲載している。第 5 章の陸域の章では世界の森林の種類や特徴を解説している。

『UNEP year book 2011: emerging issues in our global environment』

（United Nations Environment Programme 2011 年）2 階国連 A2 F003.04/'11
国連環境計画(UNEP)の年鑑 2011 年版。生物多様性の保全のために森林の管理を挙げ、森林が気候変動の緩和に大きな役割を果たすことに注目し、最新のデータと環境指標を提示している。

■インターネット

FAO: Food and Agriculture Organization of the United Nations 【<http://www.fao.org/forestry/en/>】

※ 棚番号は総合図書館のもので、本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



今の一冊！

『事典 日本人の見た外国』

(富田 仁／編 日外アソシエーツ 2008年) 2階 C11 R290.9/ジ

江戸時代から戦前までの日本人の目を通して見た外国体験—漂流記、冒険記、留学生の日記、随筆など 377 点が時代順に収録されています。書名、対象国、著者紹介、著作の成立背景、内容紹介の各項目について詳しい説明があります。国別、書名、著者名、事項名の索引も付いています。

この資料と逆に『事典 外国人の見た日本』という資料もあります。

(富田 仁／編 日外アソシエーツ 東京 1992年 2階 C10 R210.03/ジ)

使ってみました！⇒ “斎藤茂吉” の留学時のことを調べる！

著者名索引で『斎藤茂吉』を調べる→大正時代の項に記載があることがわかります。

斎藤茂吉は 1921 (大正 10) 年～1924 (大正 13) 年に精神病学の勉強のために、オーストリア、ドイツに留学。滞欧記は 65 編の随筆から構成されている『滞欧随筆』(たいおうずいひつ) とあります。ドナウ源流を自分の目で確かめようと小旅行をしたり、ルーブルなどの美術館で数々の名画に接し、ゴッホのゆかりの地を訪ねたりといったいくつかの随筆のエピソードが紹介されています。

『滞欧随筆』の掲載されている資料

『斎藤茂吉全集(旧版) 第 8 巻』(岩波書店 1952年) 閉架書庫 禁帯出

『滞欧随筆(抄)』の掲載されている資料

『日本の文学 26 柳田国男 斎藤茂吉 折口信夫』(中央公論社 1969年) 閉架書庫

『現代日本文学大系 38 斎藤茂吉集』(筑摩書房 1969年) 閉架書庫

図書館活用術

～「レファレンスだより 夏休み特集号」について～



もうすぐ、夏休み！

総合図書館 2 階相談係では、毎年夏休み中に多く寄せられる質問についての調べ方ガイド

『レファレンスだより 夏休み特集号

No.1～No.7』を

7月 20 日より配布します。

どうぞご利用ください。

『レファレンスだより 夏休み特集号』

No.1 「福岡大空襲」「税金」「統計」について調べる

No.2 「いろいろな国」について調べる

No.3 「戦争」「原爆」の資料案内

No.4 「(歴史上の) 人」について調べる

No.5 「事典」「辞典」の引き方

No.6 「ふくおか」について調べる

No.7 「地図」について調べる



福岡市人口 150 万人突破！

福岡市の人口は政令市に移行した 1972 年は 91 万人、75 年に 100 万人、2005 年に 140 万人を突破。

現在は横浜、大阪、名古屋、札幌、神戸各市に次いで 6 番目の規模となりました。

市は人口 150 万人突破を記念する催しなどを年内いっぱい実施します。事業の内容は、市政だより・福岡市ホームページに随時掲載されます。

